

令和6年度  
日本語指導担当教員等指導力向上研修会

# 外国につながる児童生徒の 日本語指導の実際

福岡市立百道中学校 指導教諭

福岡市日本語サポートセンター コーディネーター 原田徳子

# 本日の研修プログラム

## 1 子ども理解

## 2 指導の実際

①NHKの取材から

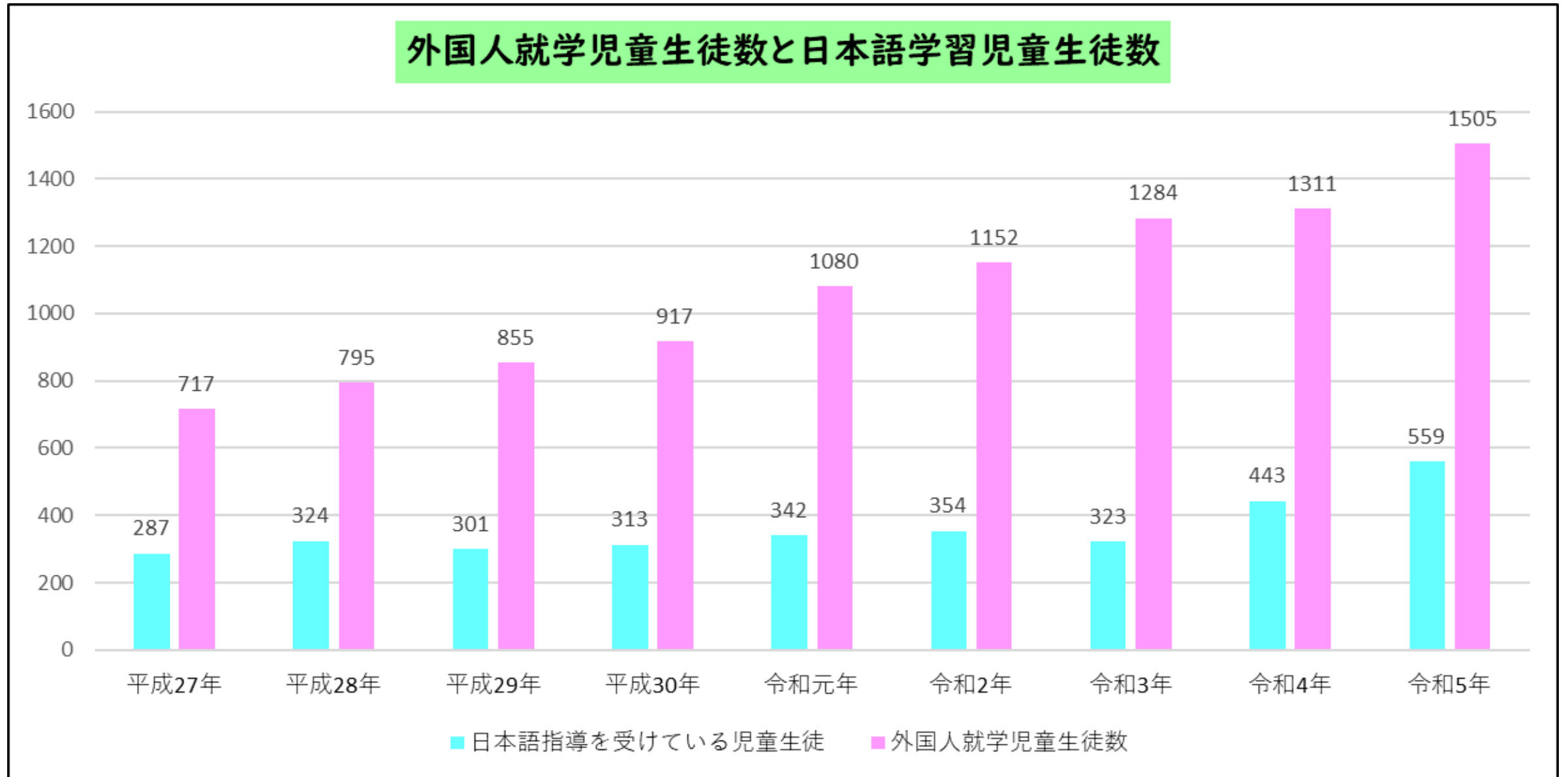
②指導の実際（日本語基礎）

## 3 指導力の向上に向けて

～福岡市JSL日本語指導教育研究会の取組  
と教科との統合学習について～

## 4 日本語教室卒業生の言葉から

# 福岡市の外国人就学児童生徒数と日本語学習児童生徒数





# 福岡市の子ども日本語サポートプロジェクト 面談

それぞれの小中学校で  
「この子は日本語指導が必要」  
と学校が判断すると、  
保護者の同意を得て  
サポートセンターへ電話

日本語指導の必要  
な子がいます!



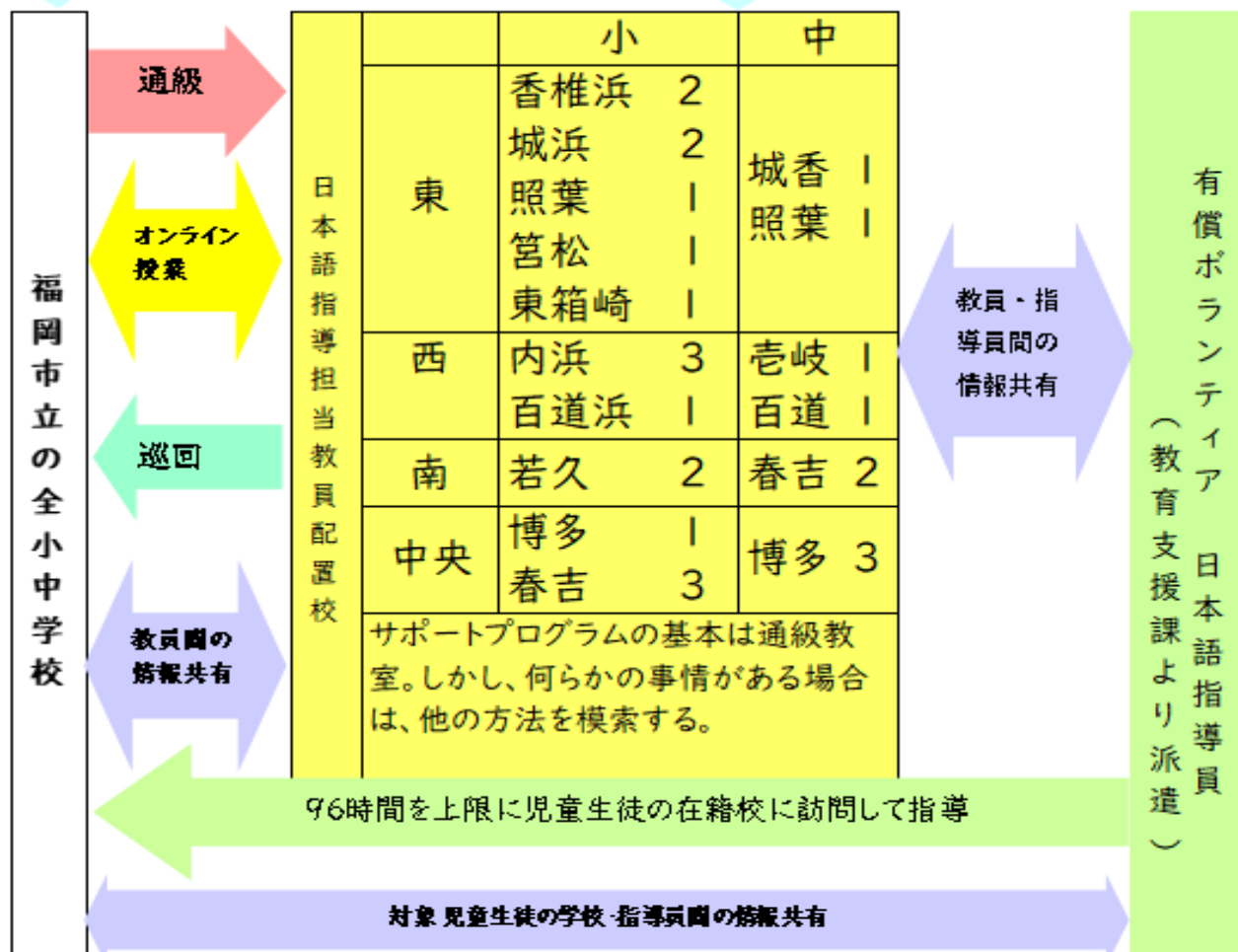
- 1 システムの説明
- 2 子どもの生活や好きなこと、学習歴を聞く
- 3 いつ、どこで、どのような指導をするか話し合う

日本語  
の指導  
開始

# 福岡市の全小中学校で

## 福岡市子ども日本語サポートプロジェクト

福岡市日本語サポートセンター コーディネーター1名  
(福岡市立百道中学校内)



# 日本語指導が受けられるシステム

※ 学校名の横の数字は、日本語教室クラス数

# 子どもの力・様子・背景は様々



A 来日直後で日本語ゼロ。インドネシア語はとても上手で学校での成績も良かった。



B 家で日本語、外では英語を使っていました。英語や勉強が苦手で、自分に自信がない。



C 来日直後。フィリピンでは、英語とタガログ語が上手に使えていました。スポーツが好きで、勉強は苦手。



D 日本生まれ日本育ち。両親は中国人で、家庭では中国語。中国語と日本語がまざって、どちらもうまく使えません。

母語がしっかり身についている子とそうでない子

来日直後の子、日本生まれ日本育ちの子

## 行動面

E 去年来日して、インターナショナルスクールに1年通いました。今年から日本の学校へ。英語はよくわかります。じっと座るのは苦手。



## 未就学



F 生まれてから、日本とベトナムを半年ごとに行ったり来たりで、幼稚園や学校には行っていません。日本語は少しわかります。

## 心の安定



G 友達やおばあちゃんと離れて寂しいです。勉強する気になれません。

自分から、「日本語を勉強しよう!」と思って来日したのではない。



# 日本語指導を受けた子 R5 559人のうち

日本語指導の必要な子	グループA	グループB
指導を受けた子の数	355	204

グループA:  
日本に来たばかりで、  
日本語は何もわから  
ない、という  
子どもたち



グループB:  
日本生まれ、日本育ち。一見日常生活  
を流暢な日本語で  
送っているようだが、  
実は、語彙が足りない、  
表現を正確にわかって  
いないため、授業が  
難しいという子どもたち



# グループBについて

日本生まれ 日本育ちだが、家に帰ると〇〇語

## 良い点

うまくいけば、バイリンガル。二つ以上の言葉を流暢に使えるので、進学や留学、就職などにもアドバンテージが期待できる。(希望的観測)

## 難しい点

2つ以上の言葉をきちんと使えるようになるためにはそれなりのサポートが必要だが、それをしていない場合、子どもは困難な状況に。

- どちらも中途半端なので**思考力**が育たない。
- 言葉が通じないため**精神的不安定さ**を抱え、**問題行動**に。
- 親が話したことはある程度わかるが、答えるときは日本語。次第に使わない母語を忘れ、**親子の会話**が成立しなくなる。
- **精神的な不安定**や**低学力**のため、進学や就職時に様々な壁が。→その子の一生を左右

・・・グループBも支援を必要としている。



# 本日の研修プログラム

1 子ども理解

**2 指導の実際**

①NHKの取材から

②指導の実際（日本語基礎）

3 指導力の向上に向けて

～福岡市JSL日本語指導教育研究会の取組  
と教科との統合学習について～

4 日本語教室卒業生の言葉から

## 2 指導の実際 NHKの取材から



# 日本の英語習得と比較してみます

あるある!

日本人の英語習得8年間

この児童は日本語教室を1年半で卒業して、自分のクラスへ。

中学で3年間  
高校で3年間  
大学で2年間  
合計8年間も英語を勉強しているのに、話すとなると自信が持てず、口から出てこない。

現在も、クラスの皆と一緒にちゃんと授業に参加できているようです。

いったい、何が違うのでしょうか？

## 2② 指導の実際

日本語指導の実際（日本語基礎）


～ つかむ 慣れる 使える 振り返る～

## 2② 指導の実際 学習の流れ


- (1) つかむ
  - ・何を学習するのかを理解する
- (2) 慣れる
  - ・つかんだ表現を反復練習
- (3) 使う
  - ・応用表現の練習
- (4) 振り返る
  - ・何を学習したのかを想起し、書き留める。

## 2② 指導の実際 (1)つかむ

何を学習するのか、本人に理解させるためには・・・




はい、じゃあ、テキスト〇ページをひらいて・・・今日は第12課「きょうしつはどこですか。」を学習します。読んでみましょう。先生の後につけて！はい、この意味は・・・ですね。では本文を読んでいきましょう。



文字を見る→読み方を知る→言ってみる→意味を知る



### 工夫の例

- ・ **実物**や**模型**を持たせて、今日の表現をイメージさせる。
  - ・ **絵カード**や**文字カード**で今日の表現を確認させる。
  - ・ **動作化**を取り入れて表現の意味を体現させる。
  - ・ **動画**を見せて、場面と音声、その時の表現を確認する。
- 



## 2②指導の実際（2）慣れる

- ・ つかんだ表現を真似して言ってみる。
- ・ 似た表現で使う単語を変えた例を見たり、  
自分であてはめたりする。  
（上に→下に→前に→後ろに）

## 2②指導の実際（2）使う






- ・自分の好きなことや身の回りのものに置き換えて、学んだ表現を使ってみる。
- ・今日の表現を使って、できれば少しまとまった話をさせる。
- ・テキストの本文を読んで、学んだ表現が出てきたらマークをつけ、他の場面や単語でも使えることを知る。
- ・本人が在籍校で使っている教科書の今学習しているところで、今日学習した表現のところにマークをつけ、教科書を一部理解できるようになったことを確かめる。

## 2②指導の実際（2）振り返る

- ・ 教師は子どもと「今日何を学んだかな」と話しながら、学んだことを想起させる。
- ・ 子どもは板書やテキストを見ながら学んだ表現を書き留める。（最初は単語からでも良い）
- ・ 今日の学習の感想を書く。



# 振り返りシートの例

 ひにち ←	がつ      にち                      ようび    (はれ    くもり    あめ) ←	ひろこ (      ) ←
 きょう ← <span style="background-color: green; color: white;">の</span> ぶん ←	←	
 きょう ← <span style="background-color: green; color: white;">の</span> ことば ←	←	
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">             わかった こと ←           </div> ← 	←	
<div style="border: 1px solid pink; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">             おもった こと ←           </div> ← 	←	

# 5つの支援

・内容や言葉を理解させる

理解支援

・思いを表現できるようにする

表現支援

・語彙や表現を覚えさせる

記憶支援

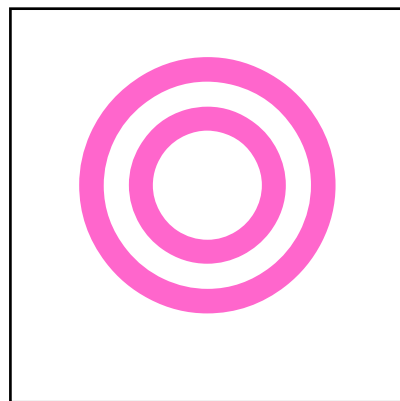
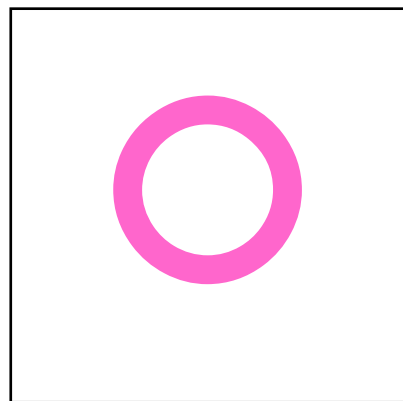
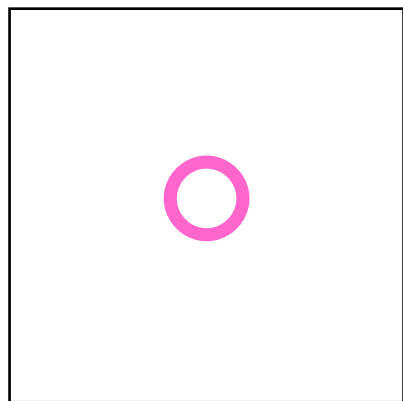
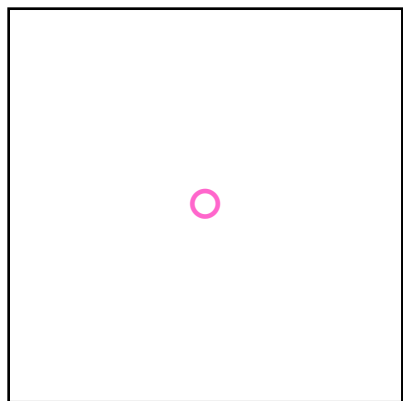
・自分で学習を進める力を育てる

自立支援

・自信や意欲を育て、自尊感情を育む

情意支援

# 大きな声を出させる工夫 話をさせる工夫



話をさせるには・・・本人が好きなおことについて、話をさせる。



# 本日の研修プログラム

1 子ども理解

2 指導の実際

①NHKの取材から

②指導の実際（日本語基礎）

3 指導力の向上に向けて

～福岡市JSL日本語指導教育研究会の取組  
と教科との統合学習について～

4 日本語教室卒業生の言葉から

# JSL福岡市日本語指導教育研究会の紹介

## 福岡市JSL日本語指導教育研究会

トップページ  
HOME

本研究会について  
ABOUT US

お知らせ  
NEWS

受入れサポート  
SUPPORT

翻訳文書  
TRANSLATED  
DOCUMENTS

資料ダウンロード  
DOWNLOAD

リンク  
LINK

### トップページ HOME

● 外国につながる子どもたちが、クラスや学校にやってきたら… ●

どうやって受け入れればいいのか？

日本語があまりできないようだけど、どうやって学習させればいいのか？

日本語ができない保護者には、どう対応したらいいのか？

クラスの子どもたちには、どう指導すればいいのか？

校則を理解させて守らせたいのだけれど…

日本語指導のサポートを受けさせたいのだけれど、どんな手順で？

日本語のおしゃべりは上手なのに、授業にはついていけない。



いろいろな悩みや課題を共有し、よりよい解決策を一緒に考えていきましょう。

令和5年度 研修計画

回	開催日	会場 (司会/ホスト)	主な内容
1	4月20日(木)	オンライン (春吉中/城香中)	○ 年間計画 ○ 事務局の組織について ○ 中央研修報告
2	5月24日(水)	オンライン 城浜小・春吉小・城香中 (香椎浜小・城香中/城浜小)	○ J S L 日本語指導教育研究会総会 (紙上開催) 【小学校】 ・グループ研究① 【中学校】 ・進路について ・学習支援に活かせる教材研究
3	7月26日(水)	オンライン 城浜小・春吉小・訪問先高校 (照葉小・照葉中/春吉小)	【小学校】 ・適応指導 ・グループ研究② 【中学校】 ・進路指導のスケジュール ・高校における日本語指導 (訪問研修)
4	8月2日(水)	オンライン (宮松小/博多小)	○ 講話 【小学校】 ・進路キャリア教育研修 【中学校】 ・訪問研修のまとめ
5	9月15日(金)	東箱崎小	○ センター研修講座 (小学校授業公開・協議会)
6	10月1日(水)	城香中	○ センター研修講座 (中学校授業公開・協議会)
7	11月15日(水)	オンライン (若久小・巻岐中/東箱崎小)	【小学校】 ・授業づくり ・グループ研究③ 【中学校】 ・進路指導に向けて ・年度末の書類 ・困難事例の対応と対策
8	1月17日(水)	オンライン (春吉小・城浜小/内浜小)	【小学校】 ・評価とDLA ・グループ研究④ 【中学校】 ・進路指導に関する講話
9	3月21日(木)	オンライン (博多小)	○ 授業づくり研修③ (発表予備日) ○ 年度末の事務処理と書類作成について

毎月1回、夏休みは1日研修で、様々な視点から学びを深めています。

今年度も小中学校一校ずつ、授業公開と協議会を行って授業研究を行いました。

研修プログラムの中で、年間を通して一つのものを作り上げていく時間を設けています。

# グループ研究の足跡 ～グループで切磋琢磨しながらも、指導案は一人一枚作成する～

年 度	内 容
2019年 R1	小1から中3まで算数・数学の「数と式」の指導事例集作成。(全員で分担して全学年分を作成)
2020年 R2	それぞれが授業で工夫した点を入れた指導案を書き、オンライン上で発表する。(・・・コロナ禍で集まれないが、授業はしている、その足跡を共有)
2021年 R3	オンライン授業の工夫 (指導案全員作成→共有)
2022年 R4	「授業実践のための研修」～日本語と教科の統合学習～ (指導案全員作成→共有)
2023年 R5	小学校 A：文字指導の学習プログラムの作成と実践 B：ICTを活用した指導事例集の作成と実践 中学校 進路指導につ

集めた事例集や指導案は、研究紀要にまとめ全員に配布。  
ウェブ上でも共有していつでもだれでも使えるように。

その子の状態を知る。

何ができて、何ができないのかを見定める。

目標を定める。

何ができるようにになれば目標達成かを明確にする。

目標達成のための手立て、工夫を考える。

どんな手立てで、工夫でできるようにするのか考える。

振り返りの時間を作る。

本人に、「何ができるようになったか、それでどんな気持ちだったか」を話させる、書かせる時間を設定する。

# 評価（教科との統合学習）

その教科ができる  
ようになれば良い



一般的な学校  
の通知表

はしごがうまく登れたかな？  
どんなはしごだったら、もっ  
と上手に登れるかな？



DLA



# 指導力の向上に向けて

- 教科との統合学習を進める大切さ
- 指導案を書くこと
- 仲間とともに工夫を集めること

# 本日の研修プログラム

1 子ども理解

2 指導の実際

①NHKの取材から

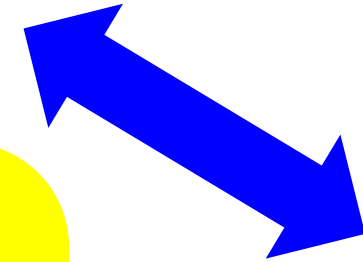
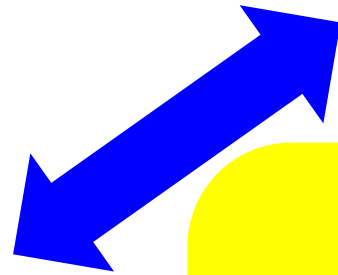
②指導の実際（日本語基礎）

3 指導力の向上に向けて

～福岡市JSL日本語指導教育研究会の取組  
と教科との統合学習について～

4 日本語教室卒業生の言葉から

# 担任の先生・日本語指導担当教員・指導員など、子どもをとりまく大人がつながることの大切さ



日本語指導担当教員

## 情報共有・協力

- 子どもの持つ日本語の力
- 子どもの背景
- **学習内容・進度**
- 教え方の相談
- その日の様子
- 今後の方針



96時間の日本語指導員



# 多文化共生の心を育む学級づくり

- 児童生徒を理解する（周りの子が）
  - ・ 児童生徒や保護者との面談
  - ・ 子どもの成育状況      ・ 母国の文化や習慣
  - ・ 子どもの日本語力      ・ 母国での学習経験
- 居場所づくり
  - ・ 学級の一員として居場所が  
感じられる学級に
  - ・ 母文化や母語に誇りを  
感じられるように



# 校長先生・教頭先生を始めとする学校全体の雰囲気

つくる

温かい面接の場面を作り、子どもを理解し違いを認める機会を。  
その子や親の願いやこれまでの状況に皆で耳を傾ける。



支える

担任の先生や保護者を孤立させない。保護者会や担任会、研修会を開く。評価を工夫して進路をひらく。

理解する

日本語指導の必要性を理解して、環境を整える。

つなげる

地域住民やボランティア、教育委員会、PTAとの連携

大変→育った

今日は、

- ・子ども理解
- ・指導の実際
- ・指導力向上に向けて
- ・卒業生の言葉などを紹介いたしました。皆様のお心には何が残りましたか？

日本語指導の必要な児童生徒に関わっていらっしゃる先生方、これから関わる先生方に、少しでも参考になれば幸いです。



# 参考資料 文献

- 受け入れ時  
文部科学省「受け入れの手引き」
- 日本語指導時東京都教育委員会  
たのしいがっこう ひろこさんのたのしいにほんご みんなの  
にほんご
- 評価に困ったら  
文部科学省「アセスメント D L A」
- 手元に置きたい参考書  
「外国人児童生徒のための支援ガイドブック」 凡人社  
「外国につながる子どもの日本語教育」

ご清聴ありがとうございました。